

文化・芸術

「11時のヨーグルト」

2016年、油彩・カンバス
(作家蔵)

石原彰二 (1950年)

今回から、現在開催中の企画展「桐生のアーティスト2020」の出品作品をご紹介します。

本作には、あたたかな日が差し込むテラスでゆったりとした時間を楽しむ人物が描かれています。作品名を見ると、どうやらヨーグルトを食べているようです。しかし肝心のヨーグルトは描かれていません。目に入ってくるのは、満足そうに握られている銀のスプーンだけ。椅子の背に映る影は、左手に持っているであろうヨーグルトを食べるため、かがんだ時の影のようにも見えます。背後から、静かにトカゲが近づいてくる様子もかわいらしいです。

石原彰二は桐生市に生まれ、東京芸術大学を卒業した後、スペインに渡ります。以来、スペインに暮らしながら創作活動を続け、日本でも精力的に個展を開催しています。

(池田)

※企画展「桐生のアーティスト2020」は6月22日まで。出品作家は、石原彰二、金原寿浩、小林達也、小松原洋生、丸尾康弘、圓山和幸、森村均、山口晃、月曜休館。

名画の扉

大川美術館企画展から

